

☆初任者研修第2回「授業づくり① 特別の教科 ー道徳の授業づくりについてー」

先日、3週にわたって（小1班：4/19、小2班：4/26、中1・2班：5/2）初任者研修第2回が行われました。桃山学院教育大学の龍神美和先生の講義・演習からは、道徳の授業づくりについてはもちろん、他教科の授業づくりや、日々のクラスづくり、子どもとの関係づくりに通ずることが学べたのではないのでしょうか。皆さんがどのように OPP シートに自分の学びを書きまとめたのか、我々も今から拝見するのが非常に楽しみです。以下、研修の冒頭で話した内容の補足をします。

☆『主体性』と『自主性』

豊能地区の初任者研修のテーマは「子ども主体の学級・授業づくり」だという話をしました。この一年をかけて皆さんそれぞれの『子ども主体の学級・授業』の具体的な姿をつかんで欲しいと思っています。また、研修当日は時間の関係で触れなかったのですが、『主体性』を考える際、『自主性』という言葉との意味の違いを考えることもヒントになると思います。是非、調べてみてください。

☆『まとめ』の主語は？

OPP シートは、皆さんが研修で学んだことを振り返り、まとめていくシートです。当たり前ですが、主語は受講者の皆さんです。同じ映画を観ても人によって感想が異なるように、同じ研修を受けても、そこから何を感じ、何を学ぶのかは人それぞれです。OPP シートを書くときに、改めて研修を振り返り、自分が何を学んだのかをもう一度見つめ直し、整理しましょう。研修を企画している我々も、皆さんが書きまとめた学びを通して研修がどうだったのかを振り返り、今後の研修を皆さんにとってより良いものにできるよう努めていきます。お互い、学び続ける姿勢を大事にしたいですね！

そして、同じことが日々の授業にも当てはまります。同じ授業を受けたとしても、子どもたちそれぞれに学びがあります。だからこそ、授業者は子どもが書いた振り返りやまとめを見て、誰がどのような学びをしているのかを確かめ、次の授業や自らの授業改善につなげていく必要があります。教科書や黒板にきれいにまとまっている「まとめ」を写しただけのまとめからは、それぞれの子どもの学びは読み取れません。また、子ども同士の対話が活発に進んで、上手くいったように感じた授業でも、意外と多くの子どもがまとめを書けなかったり、逆に、停滞した雰囲気、先生自身は失敗したなぁと思った授業でも、子ども一人ひとりもしっかり思考していて、予想以上にまとめを書けたりします。これも、子どもが書いた振り返りやまとめだからこそ読み取れることです。龍神先生のお話にもありましたが、子どもの学びをポートフォリオ形式（形はいろいろあります。）にして残すことで、子ども自身が自分の成長や変容に気づけるとともに、先生方の授業改善にもつながります。

学校現場には、子どもを主語にしたまとめ・振り返りを行っている先輩方はたくさんいらっしゃると思いますので、是非、校内外で参考になる実践例を見つけて欲しいと思います。